

むらの高等支援学校 令和4年度 教育課程表

【各教科の指導の重点】

教科等名			年間授業時数計画(週時数)					
			学年	1	2	3	計	
国語		日常で使う漢字や正しい言葉づかいを身につけ、「話す、聞く、読む」活動を通じて、自己表現力やコミュニケーション力を高め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。	2	2	2	6		
社会		社会自立に向けて、身近な社会生活で実践することのできる地理的・公民的分野の能力、社会マナーに対する具体的な知識を高め、社会の仕組みに対する興味・関心を深め、社会生活に必要な能力を育てる。	1	1	1	3		
数学		生活に必要な数量や図形に関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。	2	2	2	6		
理科		自然の事物・事象が日常生活に与える影響を理解を深める。習得した知識を適切に用いることが出来るよう、科学的な見方や考え方を養う。	1	1	1	3		
保健体育		様々な種目を通じて、基礎・基本的な知識や技能を身に付け、運動の幅を広げる。また、集団の一員としての自覚を持ち、規範意識を高めるとともに、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。	3	3	3	9		
家庭		家庭生活を明るく豊かにするために必要な家庭生活に関連する知識・技能を習得し、生活に活かす。	2	2	2	6		
情報		コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を養う。また、情報の管理について基本的なルールとマナーを学ぶ。	1	1	1	3		
音楽		歌唱や楽器を通して作り上げる喜びや生み出す喜びを知る。鑑賞から受けた感動を次の演奏活動や創作活動に活かしながら、表現のプロセスを学び、生活を明るく楽しいものとする豊かな心を育てる。	1	1	1	3		
美術		美術に親しみながら、作品制作を行い、表現力や鑑賞の能力を高め豊かな心を養う。		1	1	2		
外国語		外国語や外国の文化に対する興味関心を深め、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする基礎的な能力や態度を育てる。	1	1	1	3		
職業に関する専門教科	職業共通	流通サービス	ビジネス社会に必要な言葉遣いやマナーなどの基本的な知識や文具・事務作業の技術習得を図る。また、軽作業やコンピューターの入力作業を通して、集中・継続して取り組む姿勢を育み、労働および生活上必要となる技能の習得を図る。	1	1	1	3	
		キャリアデザイン	自分自身を見つめることで自己のあり方生き方を学び、進路実現のために必要な力を身につける。また社会自立に向けて社会生活の仕組みや基礎知識を学び、応用する力を育てる。	1	1	1	3	
		清掃	清掃実習を通して、清掃の意義や必要性を理解するとともに、正確で丁寧な作業や、作業中のマナーを身につける。	2	1	1	4	
		接客(カフェ)	模擬喫茶店での具体的な接客場面を通して、対人場面で求められるコミュニケーション能力を養うとともに、組織の一員として連携する姿勢と技能を身につける。	2	2	1	5	
	専門学科	リデザイン	福祉	福祉実習を通じて自己理解と対人援助の基本について学び、共感的な姿勢を養う。また、介護・福祉に関する基礎的な知識を習得する。	△8	8	9	25
			クリーニング	クリーニング作業を通して流れ作業、分業、納期を意識した作業を通して、仕事の仕組みを知り、接客業務に関するマナーやルールを遵守する姿勢を養う。				
		プロダクト	木工	木材加工を中心とした実習を通じて就労に必要な、集中力・継続力・コミュニケーション能力の向上を目指す。またものづくりを通して準備・安全管理の大切さ・工具の取り扱い・達成感を学び養う。	△8	8	9	
			窯業	窯業の実習を通じてものづくりの工程を正確に理解し、素材や道具の丁寧な扱い方を学ぶ。また、ものを作る喜びや楽しさを味わうなかで就労に必要な基礎的な力・手順を守ることの大切さや集中力・持続力などを養う。				
		デザイン	農園芸	栽培実習を通じて就労に必要な、集中力・持続力・コミュニケーション能力の向上をめざし、加えて屋外での実習を数多く体験することで、体力の向上と不愉快的な条件化での作業経験を積ませる。	△8	8	9	
			食品加工	食品加工実習を通じて、食品加工に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、安全や衛生面に配慮しながら取り組む姿勢や体力を養う。				
LHR	道徳		責任を重んずる態度や自他の人権を尊重しながら生きる力を養う。また、自分や他者の理解を深め、社会性や豊かな人間性を育てる。	2	2	2	6	
	特別活動		社会性や豊かな人間性を育むため、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事などに取り組む。					
	総合的な学習(探究)の時間		金銭や地図・行程表などを用いた校外での学習場面を通して問題解決的な学習を行うと同時に、自己のあり方生き方及び卒業後の社会生活を考える指導を行う。					
自立活動		個別の指導計画を作成し、クラス担任を主に個の課題に応じた指導内容を設定すると共に、コミュニケーション能力を高めるための取り組み等「自立活動6領域」の指導について、「自立活動の時間」及び学校生活全体を通じて行う。	30分×5日	30分×5日	30分×5日			
総計			30	30	30	90		

※1コマは45分、1日は45分×6時間+自立活動(30分)とし、年間35週として計算する。
 ※△1年生はオリエンテーション期間で全職業に関する専門教科を履修する
 *1コマは45分、年間35週として計算する。
 ▲1年生はオリエンテーション期間(12週)で全職業に関する専門教科を履修する

【共生推進教室】

教科等名			年間授業時数計画(週時数)			
			学年	1	2	3
流通サービス		ビジネス社会に必要な言葉遣いやマナーなどの基本的な知識の習得や文具・事務作業の技術習得を学ぶ。	1	1	1	3
接客(カフェ)		模擬喫茶店での具体的な接客場面を通して、対人場面で求められるコミュニケーション能力を養うとともに、組織の一員として連携する姿勢と技能を身につける。	2	1	1	4
クリーニング		クリーニング作業を通して基本的な就労習慣(技能、体力、集中力、作業の正確さ)および、社会とのつながりを意識し周囲とのコミュニケーションの在り方を学ぶ。			2	2
清掃		清掃作業に必要な知識及び清掃作業の技能を習得する。安全を考慮した作業の仕方を習得する。	2	1	1	4
福祉		福祉実習を通じて自己理解と対人援助の基本について学び、共感的な姿勢の習得を図る。		2		2
農園芸		栽培実習を通じて就労に必要な、集中力・持続力・コミュニケーション能力の向上を目指す			1	1
木工		木材加工を中心とした実習を通じて就労に必要な、集中力・継続力・コミュニケーション能力の向上を目指す。またものづくりを通して準備・安全管理の大切さ・工具の取り扱い・達成感を学び養う。		1		1